『小樽雪あかりの路』準メーン会場・小樽芸術村会場、点灯中

『小樽雪あかりの路』準メーン会場・小樽芸術村会場の様子

2020年2月9日(日)より始まりました、『小樽雪あかりの路』。
小樽芸術村は準メーン会場として参加させて頂いております。
今年のテーマは、"キャンドルで描く、雪あかりの地上絵"。
中庭にある高さ５ｍの雪山から、光の絵を見下ろす、という美術館らしい会場を目指しました。
それでは、その模様をご紹介致します。

旧三井銀行小樽支店と雪あかり

斜面横・階段を利用して

雪が照らされて綺麗です

紙コップを利用したキャンドル

また、見る時間帯によって表情が変わるのも、雪あかりの路の魅力の一つ。

午後5時10分頃

午後5時30分頃

刻々と表情を変えるので、ずっと見ていても飽きません。(実際には寒さと戦いとなるため、
ずっとは見ていられないですが…)
肉眼で見ると、右側の、暗くなってからの方が綺麗な感じがするのですが、写真にしてみると、左側の、
まだ少し明るい時間帯の方が、ロウソクの明かりが温かみのある色に写って、綺麗なように感じました。

今年はずっと雪が少なく、直前にドッと降ったかと思えば気温が上がって溶けてしまったり、
イベントとしては難しい天候となっていますが、従業員もボランティアスタッフも
頑張って会場づくりをしております。
また、期間中はステンドグラス美術館のみ、19時までの延長営業となっておりますので、
こちらも併せまして、光の芸術を楽しんで頂けたらと思います。

『小樽雪あかりの路』準メーン会場・小樽芸術村会場
・開催日時：2020年2月9日(日)～16日(日) 17:00 - 21:00
※入場無料
＊2月16日(日)のみ、特別イベント『アカペラ×雪あかり』開催(17:00-20:00)

※期間中は美術館各館の営業時間が変わります。
◎ステンドグラス美術館　10:00 - 19:00
◎旧三井銀行小樽支店　10:00-16:00
◎似鳥美術館　10:00-16:00

【おまけ】
似鳥美術館4階からの景色。
ここから見るのが一番"地上絵"らしいと思うのですが、閉館後にしか見られないという…
皆様にご覧になって頂きたかったです。

準備作業中

点灯後

皆様のお越しをお待ちしております。